



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日
東

上場会社名 株式会社グローバルキッズCOMPANY 上場取引所
コード番号 6189 URL <https://www.gkids.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中正 雄一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 野田 雅之 TEL 03-3221-3770
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	20,189	8.6	1,254	56.8	632	210.6	670	248.5	144	—
2023年9月期第3四半期	18,595	1.8	799	△30.7	203	△59.5	192	△80.4	△157	—

(注1) 包括利益 2024年9月期第3四半期 152百万円(—%) 2023年9月期第3四半期 △145百万円(△68.6%)

(注2) EBITDA (営業利益+減価償却費)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	15.36	15.31
2023年9月期第3四半期	△16.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	15,219	7,989	52.5
2023年9月期	16,675	8,104	48.6

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 7,989百万円 2023年9月期 8,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,400	5.0	860	152.1	900	180.3	320	—	33.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) EBITDA 1,700百万円

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	9,452,752株	2023年9月期	9,429,141株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	15,823株	2023年9月期	15,823株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	9,427,256株	2023年9月期3Q	9,407,614株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

子育て支援事業を取り巻く状況は、共働き世帯数の増加や女性の就業率上昇により保育所利用者数及び保育施設数の増加が続いていましたが、2023年4月の待機児童数が2,680人と前年比264人減少したほか、2022年の出生数が統計を取り始めた1899年以来初めて80万人を割るなど、外部環境が変化しております。

一方、政府は子どもに関する政策を一元化し社会の中心に据える「こどもまんなか社会」を掲げ、家庭を取り巻く諸問題に本格的に取り組む「こども家庭庁」を2023年4月に設置するなど、関連施策を推進しています。また、2023年12月に閣議決定された「こども未来戦略」には、76年ぶりとなる保育士の配置基準の見直しや保育士の処遇改善を進めることなどが盛り込まれています。

このように子育て支援事業を取り巻く外部環境が大きく変化する中、当社グループは2021年11月12日に「中期経営計画2024」を公表しており、3カ年計画の最終年度に当たる当連結会計年度も引き続き「規模拡大」「機能拡充」「基盤強化」の3つの施策を骨子とした取り組みを進めております。

「規模拡大」の具体策として2023年4月18日に、当社グループが注力する東京都認可保育所を中心に展開する株式会社おはようキッズ（旧東京建物キッズ株式会社）の全株式を取得する株式譲渡契約を締結し、同年6月1日付で完全子会社化いたしました。2024年4月1日に実施した事業譲渡及び株式譲渡により、運営施設数は減少しますが、運営施設数に占める認可保育所の割合は約81.9%から88.7%へと上昇しました。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係)」をご参照ください。

また「機能拡充」を企図した新規事業強化等による収益源の多様化推進のためにはグループ本社機能の再編による生産性向上が不可欠と判断し、2023年4月1日を効力発生日として株式会社グローバルキッズの子育て支援事業の一部を株式会社GKSへ承継いたしました。加えて、本社機能の効率化や更なる業務品質向上を目指し新たな人事システムの導入や会計システムの刷新に着手しております。

「基盤強化」の施策としてはICT戦略の要点である子育てプラットフォーム開発を進めており、積極的な投資を継続しております。加えて習い事事業「GlobalKids Plus+」についても2023年6月に豊洲で開講しました。また、2024年4月には豊島区の認証保育所1施設をシンガポールのインターナショナル幼稚園であるEis International Pre-Schoolと連携し、インターナショナルプレスクールとしてリニューアルオープンいたしました。

当第3四半期連結会計期間末時点における運営施設数は、認可保育所149施設（東京都115施設、神奈川県29施設、千葉県4施設、埼玉県1施設）、認証保育所・認定こども園等保育施設8施設、学童クラブ・児童館11施設の計168施設となります。

売上原価率は、採用費削減や食材費減少等の寄与により大幅に改善、前年同期比2.2ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、戦略的に積み増しているICT費用の影響により増加しましたが、売上高増加や売上原価率改善が収支改善に寄与しました。

上記の結果、当第3四半期連結結果計期間は、売上高20,189百万円（前年同期比8.6%増）、EBITDA1,254百万円（同56.8%増）、営業利益632百万円（同210.6%増）、経常利益670百万円（同248.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益144百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1,455百万円減少し15,219百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ565百万円減少し4,188百万円となりました。これは、現金及び預金が223百万円増加した一方で、未収入金及び契約資産が784百万円減少したことが主因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ890百万円減少し11,031百万円となりました。これは、減損損失及び減価償却費を計上したことにより建物及び構築物（純額）が757百万円減少したことが主因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比べ1,341百万円減少し7,230百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ610百万円減少し3,042百万円となりました。これは、6月賞与支給により賞与引当金が329百万円、未払法人税等が186百万円それぞれ減少したことが主因です。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ730百万円減少し4,187百万円となりました。これは、長期借入金が731百万円減少したことが主因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ114百万円減少し7,989百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を144百万円計上した一方で、第8期期末配当金により282百万円減少したことが主因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月10日に公表しました2024年9月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては本日(2024年7月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正並びに特別損失に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,359	1,582
未収入金及び契約資産	2,589	1,804
前払費用	708	677
未収還付法人税等	86	81
その他	9	41
流動資産合計	4,753	4,188
固定資産		
有形固定資産		
土地	692	692
建物及び構築物(純額)	8,145	7,388
その他(純額)	255	290
有形固定資産合計	9,093	8,371
無形固定資産		
ソフトウェア	276	302
ソフトウェア仮勘定	23	6
無形固定資産合計	299	309
投資その他の資産		
投資有価証券	27	27
長期前払費用	293	223
敷金及び保証金	1,878	1,788
建設協力金	247	201
繰延税金資産	81	109
その他	0	0
投資その他の資産合計	2,528	2,350
固定資産合計	11,921	11,031
資産合計	16,675	15,219
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	949	827
未払金	1,445	1,475
未払法人税等	223	36
前受金	135	119
賞与引当金	629	300
その他	268	282
流動負債合計	3,652	3,042
固定負債		
長期借入金	3,026	2,295
退職給付に係る負債	508	504
繰延税金負債	965	1,001
資産除去債務	414	384
その他	3	2
固定負債合計	4,918	4,187
負債合計	8,571	7,230

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,302	1,309
資本剰余金	1,991	1,998
利益剰余金	4,836	4,699
自己株式	△12	△12
株主資本合計	8,118	7,996
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△14	△6
その他の包括利益累計額合計	△14	△6
純資産合計	8,104	7,989
負債純資産合計	16,675	15,219

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	18,595	20,189
売上原価	17,143	18,168
売上総利益	1,451	2,021
販売費及び一般管理費	1,248	1,388
営業利益	203	632
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
補助金収入	—	62
雑収入	10	1
営業外収益合計	12	65
営業外費用		
支払利息	12	19
開設準備費用	—	3
雑損失	10	4
営業外費用合計	23	27
経常利益	192	670
特別利益		
受取保険金	—	18
段階取得に係る差益	※1 21	—
負ののれん発生益	※2 98	—
特別利益合計	119	18
特別損失		
固定資産除却損	0	8
減損損失	※3 608	※3 201
閉園に伴う損失	—	※4 11
事業譲渡関連費用	—	※5 179
損害賠償損失	—	18
子会社株式売却損	—	※6 3
特別損失合計	608	423
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△296	265
法人税等	△139	120
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△157	144
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△157	144
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	—
退職給付に係る調整額	11	7
その他の包括利益合計	11	7
四半期包括利益	△145	152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△145	152
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 段階取得に係る差益

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

株式会社おはようキッズ(旧東京建物キッズ株式会社)の株式の段階取得に伴い21百万円を計上しております。

※2 負ののれん発生益

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

2023年6月1日を効力発生日として、株式会社おはようキッズ(旧東京建物キッズ株式会社)の株式取得による子会社化に伴い98百万円を計上しております。

※3 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
施設 (16施設)	建物及び構築物 有形固定資産「その他」	神奈川県横浜市 他	608

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位に基づき、施設を基本単位として資産のグルーピングを行っております。このうち、営業損益が悪化している施設について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失(建物及び構築物583百万円、有形固定資産「その他」25百万円)として特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
施設 (9施設)	建物及び構築物 有形固定資産「その他」	東京都港区 他	201

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位に基づき、施設を基本単位として資産のグルーピングを行っております。このうち、営業損益が悪化している施設について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失(建物及び構築物185百万円、有形固定資産「その他」16百万円)として特別損失に計上しております。

※4 閉園に伴う損失

当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

保育施設の移転及び閉園により原状回復費用など11百万円が発生したため、閉園に伴う損失を計上いたしました。

※5 事業譲渡関連費用

当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

事業譲渡及び株式譲渡の対象施設の固定資産簿価189百万円、当該施設に所属している従業員への割増退職金14百万円などの費用を事業譲渡関連費用として計上いたしました。事業譲渡及び株式譲渡の詳細につきましては「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係)」をご参照ください。

※6 子会社株式売却損

当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

当社の連結子会社である株式会社グローバルキッズは100%子会社である株式会社T-Kidsの全株式を株式会社SHINKSへ譲渡いたしました。これにより子会社株式売却損として3百万円を計上いたしました。株式譲渡の詳細につきましては「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係)」をご参照ください。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、「子育て支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	596百万円	622百万円

(企業結合等関係)

(事業分離)

(社会福祉法人すくすくどろんこの会への譲渡)

当社の連結子会社である株式会社グローバルキッズの保育施設の譲渡につきまして、2024年4月1日付で完了いたしました。

(1) 事業分離の概要

①分離先企業の名称

社会福祉法人すくすくどろんこの会

②分離した事業の内容

大阪認可保育所5施設及び上尾市小規模保育施設1施設

③事業分離日

2024年4月1日

④法的形式を含む取引の概要

受取対価を無償とする事業譲渡

(2) 実施した会計処理の概要

①移転損益の金額

事業譲渡関連費用 152百万円

②移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	— 百万円
固定資産	170 百万円
資産合計	170 百万円
流動負債	— 百万円
固定負債	— 百万円
負債合計	— 百万円

(3) 分離した事業が含まれていた報告セグメントの名称

当社グループは単一セグメントであり、子育て支援事業に含まれております。

- (4) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益及び包括利益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

	累計期間
売上高	329百万円
営業利益	0百万円

(株式会社SHINKS-Kへの譲渡)

当社の連結子会社である株式会社グローバルキッズの保育施設の譲渡につきまして、2024年4月1日付で完了いたしました。

(1) 事業分離の概要

①分離先企業の名称

株式会社SHINKS-K

②分離した事業の内容

東京都認証保育所6施設

③事業分離日

2024年4月1日

④法的形式を含む取引の概要

受取対価を無償とする事業譲渡

(2) 実施した会計処理の概要

①移転損益の金額

事業譲渡関連費用 16百万円

②移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	— 百万円
固定資産	18 百万円
資産合計	18 百万円
流動負債	— 百万円
固定負債	— 百万円
負債合計	— 百万円

(3) 分離した事業が含まれていた報告セグメントの名称

当社グループは単一セグメントであり、子育て支援事業に含まれております。

- (4) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益及び包括利益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

	累計期間
売上高	175百万円
営業損失(△)	△26百万円

(連結子会社株式の譲渡)

(株式会社SHINKSへの譲渡)

当社の連結子会社である株式会社グローバルキッズは100%子会社である株式会社T-Kidsの全株式の株式会社SHINKSへの譲渡を2024年4月1日付で完了いたしました。

(1) 事業分離の概要

①分離先企業の名称

株式会社SHINKS

②分離した子会社の名称及び事業の内容

子会社の名称：株式会社T-Kids

事業の内容：保育所等の運営

③事業分離日

2024年4月1日

④法的形式を含む取引の概要

受取対価を現金等の財産のみとする事業譲渡

(2) 実施した会計処理の概要

①移転損益の金額

子会社株式売却損 3百万円

②移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	7百万円
固定資産	11百万円
資産合計	19百万円
流動負債	0百万円
固定負債	6百万円
負債合計	6百万円

③会計処理

当該譲渡株式の連結上の帳簿価額と売却額の差額等を「子会社株式売却損」として特別損失に計上しております。

(3) 分離した事業が含まれていた報告セグメントの名称

当社グループは単一セグメントであり、子育て支援事業に含まれております。

(4) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益及び包括利益計算書に計上されている子会社に係る損益の概算額

	累計期間
売上高	114百万円
営業損失(△)	△21百万円

社会福祉法人すくすくどろんこの会と株式会社SHINKS-Kへの事業譲渡及び株式会社SHINKSへの株式譲渡を行った主な理由

当社の事業展開エリアを分析し、エリア特性や保育需要の見込みを見極め、運営上の収支も検証した結果、首都圏で中長期的に堅調な運営(収支)が見込まれる保育所等に経営資源を集中することで経営の効率化が図られると判断しました。こうした背景から、本事業譲渡及び株式譲渡を実施いたしました。

(重要な後発事象)

(事業譲渡)

2024年7月31日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社グローバルキッズが運営する認可保育所3施設を社会福祉法人すくすくどろんこの会へ譲渡することを決議し、事業譲渡契約を締結いたしました。詳細につきましては本日(2024年7月31日)公表いたしました「連結子会社における事業譲渡に関するお知らせ」をご参照ください。

(1) 譲渡先企業の名称

社会福祉法人すくすくどろんこの会

(2) 譲渡する事業の内容

戸田市認可保育所1施設、千葉県認可保育所2施設

(3) 譲渡予定日

2025年4月1日

(4) 譲渡価額

無償